



## 2020年12月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2020年8月7日

上場取引所 東

上場会社名 星光PMC株式会社

コード番号 4963 URL <https://www.seikopmc.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 滝沢 智

問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役管理本部長 (氏名) 井内 秀樹 TEL 03-6202-7331

四半期報告書提出予定日 2020年8月14日 配当支払開始予定日 2020年9月8日

四半期決算補足説明資料作成の有無： 有

四半期決算説明会開催の有無： 無

(百万円未満切捨て)

### 1. 2020年12月期第2四半期の連結業績（2020年1月1日～2020年6月30日）

#### (1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年12月期第2四半期	12,544	△7.3	970	△21.0	983	△22.2	619	△31.2
2019年12月期第2四半期	13,532	7.7	1,228	28.9	1,264	25.4	900	16.2

(注) 包括利益 2020年12月期第2四半期 590百万円 (△31.1%) 2019年12月期第2四半期 856百万円 (33.3%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2020年12月期第2四半期	20.45	—
2019年12月期第2四半期	29.70	—

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2020年12月期第2四半期	34,891	27,468	74.6
2019年12月期	36,225	27,136	71.2

(参考) 自己資本 2020年12月期第2四半期 26,037百万円 2019年12月期 25,776百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2019年12月期	—	8.00	—	8.00	16.00
2020年12月期	—	8.00	—	—	—
2020年12月期（予想）	—	—	—	8.00	16.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無： 無

### 3. 2020年12月期の連結業績予想（2020年1月1日～2020年12月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	25,010	△10.6	1,820	△34.8	1,850	△34.9	1,180	△39.8	38.92

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無： 有

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）： 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用： 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2020年12月期 2 Q	30,743,604株	2019年12月期	30,743,604株
② 期末自己株式数	2020年12月期 2 Q	422,255株	2019年12月期	422,243株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2020年12月期 2 Q	30,321,350株	2019年12月期 2 Q	30,321,361株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項については、四半期決算短信（添付資料）3ページ「(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 財政状態に関する説明 .....	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 .....	4
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	6
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間 .....	6
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間 .....	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書 .....	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 .....	10
(継続企業の前提に関する注記) .....	10
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	10
(追加情報) .....	10
(セグメント情報等) .....	11

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

文中の将来に関する事項は、当四半期連結会計期間の末日現在において当社グループ（当社及び当社の関係会社）が判断したものであります。

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、新型コロナウイルス感染症の拡大による緊急事態宣言の発令と、それに伴う休業要請や外出自粛要請等の影響により、企業活動や個人消費が大きく落ち込むなど、景気は急激に悪化いたしました。また、新型コロナウイルス感染症の世界的な拡大の収束が見通せない状況下で、世界経済に対する悪影響の長期化が懸念されるなど、極めて先行きが不透明な状況となりました。

当社グループの主要販売先におきましては、コロナウイルス感染症拡大の影響により製紙業界・印刷インキ業界の需要がともに前年から大きく落ち込むなど、非常に厳しい経営環境となりました。

当社グループは、高品質化・生産性の向上や環境保護・省資源等、販売先業界の経営戦略に対応した差別化商品を市場に投入し売上増加に努めましたが、当第2四半期連結累計期間の売上高は12,544百万円（前年同期比7.3%減）となりました。

利益面では、売上高の減少の影響などにより、営業利益は970百万円（前年同期比21.0%減）、経常利益は983百万円（前年同期比22.2%減）、親会社株主に帰属する四半期純利益は619百万円（前年同期比31.2%減）となりました。

セグメント別の経営成績は次の通りであります。

#### ・製紙用薬品事業

製紙業界におきましては、当第2四半期連結累計期間の紙・板紙の国内生産は1,150万トンと前年同期比10.1%の大幅な減少でありました。当社グループは、国内市場、中国市場へ差別化商品の売上増加に努めましたが、日本国内、中国ともに売上高が減少した結果、当事業の売上高は、7,295百万円（前年同期比11.2%減）となりました。

利益面では、売上高の減少の影響が大きく、セグメント利益は530百万円（前年同期比37.1%減）となりました。

#### ・樹脂事業

印刷インキ業界におきましては、当第2四半期連結累計期間の印刷インキの国内生産は13万9千トンと前年同期比12.0%の大幅な減少でありました。当社グループにおいては、粘着剤の売上高は増加いたしましたが、印刷インキ用樹脂・記録材料用樹脂などの売上高が減少した結果、当事業の売上高は、3,135百万円（前年同期比7.3%減）となりました。

利益面では、日本国内の売上高の減少の影響が大きく、セグメント利益は287百万円（前年同期比8.3%減）となりました。

#### ・化成品事業

化成品事業の売上高は、主力製品の輸出売上の増加などにより2,113百万円（前年同期比9.1%増）となりました。

利益面では、売上高が増加したことなどにより、セグメント利益は350百万円（前年同期比37.6%増）となりました。

### (2) 財政状態に関する説明

当第2四半期連結会計期間末における当社グループの財政状態は以下の通りとなりました。

#### (流動資産)

現金及び預金の増加、受取手形及び売掛金の減少、電子記録債権の減少、及び短期貸付金の減少などにより流動資産は20,103百万円（前連結会計年度末比1,734百万円減）となりました。

#### (固定資産)

有形固定資産の増加、及び投資有価証券の減少などにより固定資産は14,787百万円（前連結会計年度末比399百万円増）となりました。

#### (流動負債)

支払手形及び買掛金の減少、その他の流動負債の減少などにより流動負債は6,616百万円（前連結会計年度末比1,554百万円減）となりました。

#### (固定負債)

退職給付に係る負債の減少などにより固定負債は806百万円（前連結会計年度末比112百万円減）となりました。

(純資産)

親会社株主に帰属する四半期純利益の計上、剰余金の配当などにより純資産は27,468百万円(前連結会計年度末比331百万円増)となりました。その結果、当第2四半期連結会計期間末における自己資本比率は74.6%となりました。また、有利子負債残高1,460百万円を自己資本で除した倍率(D/Eレシオ)は0.06倍となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

経営成績に関する説明に記載いたしました通り、当第2四半期連結累計期間の経営成績は、新型コロナウイルス感染症の拡大に伴う国内外の景気の急激な悪化により非常に厳しい結果となりました。第3四半期以降につきましては、感染拡大が収束に向かい経済活動の再開が進むことにより、全体として徐々に回復していくものと想定しておりますが、依然として当社グループの需要業界も含めて景気は厳しい状況で推移するものと予想されます。

このような前提に基づき、2020年2月13日に公表いたしました2020年12月期(2020年1月1日～2020年12月31日)の通期の連結業績予想を下記の通り修正いたします。

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	28,650	2,700	2,760	1,860	61 34
今回修正予想(B)	25,010	1,820	1,850	1,180	38 92
増減額(B-A)	△3,640	△880	△910	△680	
増減率(%)	△12.7	△32.6	△33.0	△36.6	
(ご参考)前期実績 (2019年12月期)	27,970	2,790	2,839	1,961	64 69

なお、業績予想は現時点で入手可能な情報に基づき、当社が判断したものであり、実際の業績等は様々な要因によって予想数値と異なる可能性があります。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2019年12月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2020年6月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	1,663,648	3,234,953
受取手形及び売掛金	10,916,857	8,069,449
電子記録債権	1,409,707	1,114,916
商品及び製品	2,437,503	2,338,306
仕掛品	356,563	445,174
原材料及び貯蔵品	1,077,577	1,173,839
短期貸付金	3,697,933	3,440,037
その他	289,859	301,351
貸倒引当金	△11,680	△14,221
流動資産合計	21,837,972	20,103,808
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	2,726,712	2,692,645
機械装置及び運搬具(純額)	2,441,244	2,424,262
土地	6,660,889	6,672,943
その他(純額)	980,307	1,394,379
有形固定資産合計	12,809,154	13,184,230
無形固定資産	72,090	70,631
投資その他の資産		
投資有価証券	964,335	835,028
退職給付に係る資産	—	55,946
その他	592,908	672,246
貸倒引当金	△51,002	△30,871
投資その他の資産合計	1,506,241	1,532,349
固定資産合計	14,387,486	14,787,211
資産合計	36,225,458	34,891,019

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2019年12月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2020年6月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	4,179,503	3,195,744
短期借入金	730,000	730,000
1年内返済予定の長期借入金	74,498	74,908
未払法人税等	388,018	257,561
賞与引当金	665,564	692,279
その他の引当金	—	39,400
その他	2,133,106	1,626,629
流動負債合計	8,170,691	6,616,523
固定負債		
長期借入金	689,375	655,708
役員退職慰労引当金	7,800	7,800
退職給付に係る負債	118,894	—
資産除去債務	88,940	89,234
その他	13,358	53,375
固定負債合計	918,368	806,119
負債合計	9,089,060	7,422,643
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	2,000,000	2,000,000
資本剰余金	1,576,265	1,576,265
利益剰余金	22,476,443	22,853,807
自己株式	△105,272	△105,284
株主資本合計	25,947,436	26,324,788
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	325,609	230,144
繰延ヘッジ損益	51	152
為替換算調整勘定	68,640	△973
退職給付に係る調整累計額	△565,255	△516,569
その他の包括利益累計額合計	△170,953	△287,245
非支配株主持分	1,359,916	1,430,833
純資産合計	27,136,398	27,468,376
負債純資産合計	36,225,458	34,891,019

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2019年1月1日 至 2019年6月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2020年1月1日 至 2020年6月30日)
売上高	13,532,282	12,544,171
売上原価	9,889,178	9,144,165
売上総利益	3,643,103	3,400,005
販売費及び一般管理費	2,414,770	2,429,235
営業利益	1,228,333	970,769
営業外収益		
受取利息	6,946	15,687
受取配当金	11,215	12,092
仕入割引	6,716	7,354
補助金収入	20,198	—
その他	32,170	34,205
営業外収益合計	77,247	69,339
営業外費用		
支払利息	6,513	5,737
売上割引	2,448	2,538
為替差損	28,578	41,211
その他	3,337	7,274
営業外費用合計	40,877	56,761
経常利益	1,264,703	983,348
特別利益		
固定資産売却益	5	—
負ののれん発生益	85,367	—
特別利益合計	85,373	—
特別損失		
固定資産売却損	—	380
固定資産除却損	14,491	5,634
投資有価証券評価損	—	7,866
減損損失	—	10,326
貸倒引当金繰入額	4,000	—
段階取得に係る差損	59,043	—
特別損失合計	77,534	24,208
税金等調整前四半期純利益	1,272,542	959,140
法人税、住民税及び事業税	270,132	214,311
法人税等調整額	37,512	46,864
法人税等合計	307,644	261,175
四半期純利益	964,898	697,964
非支配株主に帰属する四半期純利益	64,271	78,029
親会社株主に帰属する四半期純利益	900,626	619,934



(四半期連結包括利益計算書)  
(第2四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2019年1月1日 至 2019年6月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2020年1月1日 至 2020年6月30日)
四半期純利益	964,898	697,964
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△16,410	△95,464
繰延ヘッジ損益	330	101
為替換算調整勘定	△132,485	△61,224
退職給付に係る調整額	39,790	48,686
その他の包括利益合計	△108,774	△107,901
四半期包括利益	856,123	590,062
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	840,749	503,643
非支配株主に係る四半期包括利益	15,374	86,419

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2019年1月1日 至 2019年6月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2020年1月1日 至 2020年6月30日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前四半期純利益	1,272,542	959,140
減価償却費	501,395	558,622
負ののれん発生益	△85,367	—
減損損失	—	10,326
投資有価証券評価損益(△は益)	—	7,866
段階取得に係る差損益(△は益)	59,043	—
貸倒引当金の増減額(△は減少)	6,309	2,687
退職給付に係る負債の増減額(△は減少)	△84,209	△104,687
賞与引当金の増減額(△は減少)	12,133	26,335
その他の引当金の増減額(△は減少)	22,825	39,400
未払役員賞与の増減額(△は減少)	△70,300	△61,900
受取利息及び受取配当金	△18,162	△27,779
支払利息	6,513	5,737
為替差損益(△は益)	24,791	32,750
固定資産売却損益(△は益)	△5	380
固定資産除却損	14,491	5,634
売上債権の増減額(△は増加)	712,717	3,099,970
たな卸資産の増減額(△は増加)	182,705	△89,201
仕入債務の増減額(△は減少)	△321,239	△977,345
未収入金の増減額(△は増加)	△4,514	△4,837
その他	△16,168	△454,818
小計	2,215,499	3,028,282
利息及び配当金の受取額	18,162	27,169
利息の支払額	△6,519	△5,763
法人税等の支払額	△267,323	△307,406
営業活動によるキャッシュ・フロー	1,959,819	2,742,281
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
有形固定資産の取得による支出	△901,670	△1,067,900
有形固定資産の売却による収入	213	343
投資有価証券の取得による支出	△2,999	△3,069
無形固定資産の取得による支出	△11,103	△12,094
連結の範囲の変更を伴う子会社株式の取得による収入	248,698	—
定期預金の預入による支出	—	△187,487
定期預金の払戻による収入	—	191,859
会員権の売却による収入	—	5,064
短期貸付金の純増減額(△は増加)	399,175	257,896
その他	△26,019	△15,403
投資活動によるキャッシュ・フロー	△293,705	△830,791

(単位:千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2019年1月1日 至 2019年6月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2020年1月1日 至 2020年6月30日)
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
長期借入金の返済による支出	△36,328	△36,942
配当金の支払額	△257,698	△242,139
連結の範囲の変更を伴わない子会社株式の取得による支出	△130,713	—
その他	△4,842	△3,070
財務活動によるキャッシュ・フロー	△429,583	△282,151
現金及び現金同等物に係る換算差額	△46,195	△58,032
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	1,190,334	1,571,305
現金及び現金同等物の期首残高	1,421,385	1,663,648
現金及び現金同等物の四半期末残高	2,611,719	3,234,953

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(追加情報)

(会計上の見積り)

新型コロナウイルス感染症の世界的な拡大に伴う国内外の景気の急激な悪化により、当社グループは売上高の減少などの影響を受けております。このような状況は、当連結会計年度末に向けて感染拡大の収束と経済活動の再開に伴い徐々に回復していくものと仮定しており、当該仮定を固定資産の減損会計の適用及び繰延税金資産の回収可能性の判断などの会計上の見積りに反映しております。

この結果、新型コロナウイルス感染症の影響による会計上の見積りへの重要な影響はないと判断しております。

なお、当該見積りは現時点の最善の見積りであるものの、見積りに用いた仮定の不確実性は高く、上記の仮定に状況変化が生じた場合には当社グループの財政状態及び経営成績に影響を及ぼす可能性があります。

(セグメント情報等)

I 前第2四半期連結累計期間(自2019年1月1日至2019年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	製紙用 薬品事業	樹脂事業	化成品事業	合計	調整額 (注)1. 2	四半期連結 損益計算書 計上額(注)3
売上高						
(1) 外部顧客に対する売上高	8,211,580	3,383,384	1,937,318	13,532,282	—	13,532,282
(2) セグメント間の内部売上高又は振替高	63,729	308,706	5,549	377,986	△377,986	—
計	8,275,309	3,692,091	1,942,867	13,910,268	△377,986	13,532,282
セグメント利益	843,085	313,629	254,713	1,411,429	△183,096	1,228,333

(注) 1. 売上高の調整額△377,986千円は、セグメント間取引消去であります。

2. セグメント利益の調整額△183,096千円は、全社費用であります。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない研究開発費であります。

3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(重要な負ののれん発生益)

「樹脂事業」セグメントにおいて、当第1四半期連結会計期間に持分法適用会社の新綜工業股份有限公司の株式を追加取得し連結子会社としたことにより、負ののれん発生益85,367千円を計上しております。また、株式の追加取得時において段階取得に係る差損59,043千円を合わせて計上しております。

なお、当該負ののれん発生益等は報告セグメントには配分しておりません。

II 当第2四半期連結累計期間(自2020年1月1日至2020年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	製紙用 薬品事業	樹脂事業	化成品事業	合計	調整額 (注)1. 2	四半期連結 損益計算書 計上額(注)3
売上高						
(1) 外部顧客に対する売上高	7,295,299	3,135,577	2,113,294	12,544,171	—	12,544,171
(2) セグメント間の内部売上高又は振替高	26,908	220,906	5,578	253,393	△253,393	—
計	7,322,207	3,356,483	2,118,873	12,797,564	△253,393	12,544,171
セグメント利益	530,472	287,630	350,420	1,168,523	△197,753	970,769

(注) 1. 売上高の調整額△253,393千円は、セグメント間取引消去であります。

2. セグメント利益の調整額△197,753千円は、全社費用であります。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない研究開発費であります。

3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(単位:千円)

	製紙用薬品事業	樹脂事業	化成品事業	調整額	合計
減損損失	10,326	—	—	—	10,326